

道教委 就学援助の充実に特別通知 無料定額診療の周知、歯の治療にも

道教委は9月30日、就学援助を充実させるため市町村教育長に通知を出しました。保護者に対して就学援助に関する書類を配布、制度の趣旨と申請手続きの周知徹底をはかるよう呼びかけています。9月議会で真下議員がとりあげた無料定額診療事業の周知をはじめ利用の拡充を促す内容となっています。

世帯全体が対象も

無料低額診療事業は、経済的理由で医療を受けることが困難な方々に対して窓口で払う医療費負担を無料または低額で診療を行うものです。

事業内容は医療機関が決めます。旭川市では道北勤医協一条通病院と一条クリニックの2つが医療機関事業を実施しています。今年4月から対象を就学援助世帯全体に拡大しました。

「これで子どもといっしょに家族も医療費を心配しないで受診することができます。本当に助かります」との声があがっています。

クラブ活動などにも

通知では13年8月の生活扶助基準の見直しについても「特に影響が及ばないように対策を講ずる」よう市町村の適切な判断と実施を求めています。

また、就学援助を児童生徒が必要とする時期に速やかに給与すること、年度途中の柔軟な対応も求めています。

地方交付税では、要保護児童生徒への補助対象項目にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費

が追加されています。しかし、3つを支援しているのは89市町村、1つまたは2つのみは30市町村、ゼロの市町村もあるため、拡大の積極的検討も求めています。



歯の治療にも

学校での歯科検診の結果、治療の必要があることを知らせるときに「就学援助を活用して治療が受けられることもあわせて伝える」と示されています。

佐野弘美議員の質問が反映されました。

真下議員は、「子どもの貧困打開のために就学援助事業の拡充はとても重要です。今回の道教委の通知文は画期的なものです。市町村で改善・拡充していくためにともに力を合せましょう」と話しています。

8キロの路線短縮に100億円の工事費

安全と費用対効果の検証必要

真下紀子議員は、10月21日、開発道路から一般道道に移管されて工事が継続している名寄・遠別線を調査しました。険しい山中で土石流や雪崩、トンネル工事に伴う土壌汚染対策などが必要となる現場まで、曲がりくねった道が続いていました。

遠別の市街地から名寄へ100キロ、わずか8キロの路線短縮に100億円を超える工事費が投じられようとしています。

すでに国の工事で完成した道路にはいくつもの橋が架けられ、真つ暗なトンネルが1か所。土石流対策の堤体が作られ、さらにトンネル1本と8つの橋を架けようとしています。

トンネルを掘ると基準を超える土素や鉛などを含む土が出るため、その対策が必要となり、予算が増額補正されました。救急車両の通行が想定されていますが、舗装も劣化し、曲がりく

ねった道で走行スピードはどうなるのか心配です。

遠別市街地から豊富・名寄線経由で国道40号線、中川町まで20分ほどです。舗装されたばかりで快適に走行できます。名寄遠別線が完成したとしても冬期間の除雪や維持管理費用が100キロ区間です。安全と費用対効果からも建設の妥当性を再検証すべきです。



基準賃金単価を下回らない指導を

2015年度建設
工事下請工事状況



調査の結果が公表されましたが、指導件数のほとんどが公共工事設計労務単価を下回る賃金に設定されていました。道はこれまで、設計労務単価を1円たりとも下回らないよう指導し、国の設定も引き上げられてきました。極めて憂慮すべき結果です。

真下議員は一般質問で、「知事は設計労務単価を下回る事態が長年に渡って改

善されないことをどう受けとめているのか。新たに実効性ある対策に向けて真剣に取り組むべきではないか。」と改善を求めました。

高橋はるみ知事は「賃金が設計労務単価を下回っている場合には、受注者に対し文書による改善要請を行ってきたが、引き続き技能労働者の就業環境の改善

を図っていく」と答えました。

【公共工事設計労務単価】公共事業に従事する建設労働者に対する、所定労働時間内8時間当たりの賃金の単価。農林水産省と国土交通省が行う公共事業労務費調査にもとづいて決定され、公共工事の工事費の積算に用いられる。

中小企業振興へ後継者対策を

中小企業は北海道経済と雇用の柱ですが、2014年の民間信用調査会社の調査で、道内のオーナー企業8,970社のうち約半数の代表者が60歳以上、後継者不在率も7割を超えています。

真下議員は、一般質問で、中小企業振興へ、事業継承の目標を見直し、開業目標も積極的に引き上げていく必要がある、とたどりました。

道は中小企業振興条例を制定し、事業継承事業を予算計上しましたが、その対象はわずか20件程度の予算規模で、中小企業総合支援センターが行ってきた相談件数の実績程度にすぎません。

知事は、中小企業の事業活動の継続を図り、地域経済の持続的発展に努めると答えました。



日本画家 片岡球子展 道立旭川美術館で開催

10月27日、真下議員は、道立旭川美術館で開催中の日本画家・片岡球子の作品展「球子のひみつ」の開会式に出席しました。



自然や人物をダイナミックに描いた球子の絵には圧倒されますが、その元となったスケッチも多数展示されています。「球子のひみつ」は12月18日まで開催されます。

TPPの強行採決許さない

10月28日、真下議員は佐野議員らとともに、札幌駅前で、衆議院でのTPPの強行をさせないと訴えました。

TPPは日本の農業を破壊し、食の安全を損なうだけでなく、医療や年金など、国民生活のさまざまな分野に影響を及ぼします。世論調査でも7割が慎重



審議を求めています。絶対に強行することは許されません。国民の声に徹底的に訴えたいです。

東川町で道政報告会

10月30日、東川町で道政報告会が開催されました。

真下議員は、台風被害対策や泊原発の新たなリスクなどの他、東川町内の天人峡から羽衣の滝への遊歩道の復旧が予算化されたことも報告しました。

